



第12号

発行所

大阪市史跡 龍溪禪師墓所  
 靈龜山 九 島 禪 院  
 ☎550 大阪市西区木田 3丁目4-18

発行人

住 職 奥 田 啓 知 (智證)  
 ☎06-582-5772

マインドコントロールと禪

自身の主人公になれ



昨年の集団結婚式をはじめ、世界統一教会にからむ出来事が連日のように、テレビのワイドショーの話題になっています。桜田淳子さんと共に、結婚式に出席した山崎浩子さんが、同教会を脱会するにあたってのテレビ会見で『マインドコントロール』という言葉を連発されていました。

『マインドコントロール』とは、心を操作するという意味ですが、何時間もビデオテープを見せられ、教義を一方的に吹き込み、思考能力や判断能力を無くさせた上、洗脳する新興宗教の勧誘のやり方をさしています。お姉さんをはじめ、親族の必死の努力で、冷静さを取り戻した彼女は、同教会の勧誘がそのような『マインドコントロール』されたなかで行われたと言うのです。

オーム真理教、幸福の科学、そして世界統一教会と、新興宗教をめぐる話題に事欠きません

が、『マインドコントロール』を手掛かりに、仏教とくに禅の教えを考えてみたいと思います。かつて、フランスのミッテラン大統領に教えを乞われた臨済宗大本山妙心寺の管長であった山田無門大老師は、「人間はほとといても、金じゃ名誉じゃと頭に血が上るものじゃ。昨今の新興宗教は頭に血を上らせてばかりしよる。宗教というものはほっといても上る頭の血を下げる働きをせねばならぬ」と言われました。

一昔前までは、新興宗教への入信の動機は、「貧・病・争」の三本柱といわれていました。貧しい人が金儲けのために、病気の人が病氣治しを求めて、人間関係のトラブルの解決を期待して、多くの信者が新興宗教の門を叩くのだそうです。文化庁の発表によれば、現在、日本には二億人を超える信者人口があるそうです。

「くしたい」とご利益（りや

く）を求めて、総人口の二倍に近い信者が、あちらこちらの新興宗教の門をたたいているのです。

それら新興宗教の人口は、だいたいにおいて、入信者の人格改造をし、徹底的にその人間の人格を変えてしまうのです。

一口に言えば、入信者を「マインドコントロール」し、「罪人（つみびと）」と意識させるのです。「罪人」を意識すれば、社会にあってもまともには生きていけないから、「罪人」を自覚した人間どうしが集まって、集団で生活するのです。

したがって、これらインチキ新興宗教の信者となった若者たちを、親が無理やりに連れ戻しても、ほとんどの場合、社会に復帰できないのです。

中国・唐代に活躍した臨済義玄禪師は、彼の語録『臨済録』のなかには、「赤肉団上（しゃく

